

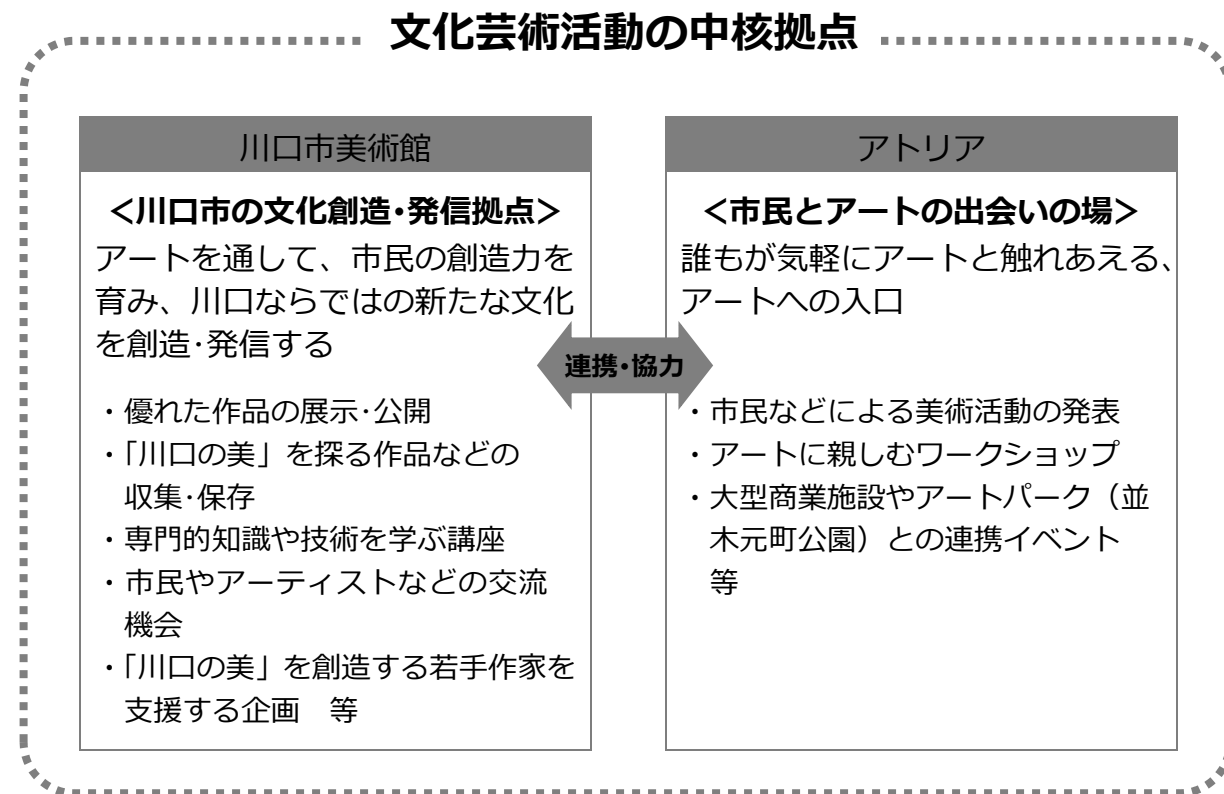
■川口市美術館のめざす姿（案）

1. 川口市美術館の位置づけ

これまでアートギャラリー・アトリアを中心に展開してきた、市民がアートに親しむ機会や市民による作品発表の場の提供を、さらに継続・発展させるための一拠点として川口市美術館を整備します。

アートギャラリー・アトリアを「市民とアートの出会いの場」として、川口市美術館を川口市の「文化創造・発信拠点」として位置づけ、一体的な運用を図ることで、相互の特色を生かした役割分担や連携・協力による、効率的かつ効果的な事業展開をめざします。

■ 2 施設の役割分担イメージ



2. 川口市美術館のめざす姿（案）

(1) 川口市美術館のコンセプト

市民の創造力や誇りを育む、 「川口的美」の創造・発信拠点

【川口的美】
 川口の風土に根ざした文化が
 生み出す普遍的価値のこと。
 ※詳細は次ページ参照

川口の風土に根ざした文化により生み出された作品を通して「川口的美」を紡ぎ、地域への愛着や誇りを醸成します。

さらに、感性を刺激する作品との出会いを通して、市民・アーティスト・匠[※]をつなぎ、新たな「川口的美」を創造・発信する拠点をめざします。

※匠：地場産業に関わる優れた技術を有する人々

(2) 川口市美術館の使命

- 市民が川口の文化に親しむ

川口で育まれた文化に親しむ機会を提供し、川口への愛着を醸成する。
- 市民の創造力を育む

「観る」「学ぶ」「創造する」体験を通して市民の創造力を高め、川口市の未来を担う人材を育成する。
- 川口ならではの新たな文化を創造・発信する

ものづくりのまちとして、アートの視点を通して新たな文化を創造し、市内・市外に向けて発信する。

(3) 事業の柱



川口市美術館のテーマ「川口の美」

1 「川口の美」の考え方

長い歴史の中で育まれた文化や「ものづくりのまち」としての地域特性など、川口の風土に根ざした文化が生み出す普遍的価値を「川口の美」と定義します。

2 川口市美術館が対象とする美術領域

未来に向けて新たな「川口の美」を創造・発信するため、絵画や彫刻、美術工芸などの優れた芸術作品や多様な視点に基づく新たな表現が生み出す美しさとともに、職人技が生み出す実用的な品々の中にある美しさや研ぎ澄まされた技術による機能美などに触れる機会を提供し、市民の感性を刺激し、創造性を育むことが重要となります。

そこで、川口市美術館では幅広い美術領域を対象とすることとし、本構想ではこうした幅広い美術領域を「アート」という言葉で表現します。



3 川口市美術館が対象とする作品

川口市美術館では「川口の美」を紡ぐために、次のような作品を対象に事業活動を展開します。

「川口の美」を紡ぐ作品

A. 「川口の美」を探るための作品

川口の歴史や文化により培われた先人たちの感性や創造性、ものづくりの精神性を知り、継承するために、以下の作品を対象とします。

a. 川口市や周辺地域に関わりのある作家の作品

- ・川口市出身の作家の作品
- ・川口市及び周辺地域で活動した作家の作品
- ・川口市や周辺地域を題材とする作品

b. 「川口の美」を理解するうえで必要と考えられる作品

- ・伝統工芸や伝統産業など、川口の風土に根ざした文化やものづくりの精神性を伝える作品や関連資料

B. 「川口の美」を創造するための作品

新たな「川口の美」の創造・発信に向けて、市民の感性を刺激し、新たな創作を誘発するために、以下の作品を対象とします。

c. 市民・アーティスト・匠の感性を刺激する作品

- ・優れた芸術作品
- ・多様な視点に基づく新たな表現

d. 川口のものづくりに関わる技術を生かした国内外の作品

- ・表現手法として、川口のものづくりに関わる技術を生かしている国内外の作品

e. 「川口の美」を創造する若手作家の作品

- ・川口市に関わりが深く、地域特性を踏まえた創作活動を行っている若手作家の作品

3. 展開する事業活動（案）

1. 親しむ事業

①基本的な考え方

- 「川口の美」を探る作品の収集・保存や、調査・研究により、作品の文化的・芸術的価値の再評価を行い、市内外に広く伝える。
- 「川口の美」を創造する作品の鑑賞を通して、市民の感性を刺激する機会を提供する。

②事業活動

a. 収集・保存

- ・「川口の美」を探る作品などの収集と、適切な環境での保存管理

【必要となる施設機能】

収蔵庫、収蔵庫前室、トラックヤード、搬入口 等

b. 調査・研究

- ・「川口の美」を紡ぐための調査・研究
- ・作品に親しみやすい展示手法の研究・開発

【必要となる施設機能】

調査研究室、書庫 等

c. 展示・公開

- ・「川口の美」を探る作品にいつでも親しめる常設展示
- ・「川口の美」を特定のテーマで掘り下げる企画展示
- ・感性を刺激する国内外の優れた作品を紹介する企画展示
- ・川口の風土に根ざした文化や「ものづくり」をアートの視点から捉え直す企画展示
- ・作品への理解を深める展示解説

【必要となる施設機能】

常設展示室、企画展示室、一時保管庫、展示準備室、備品倉庫 等

2. 育む事業

①基本的な考え方

- 「川口の美」を学ぶ機会を通して、市民の興味・関心を高める。
- 多様な創作体験の機会を提供する。
- 「川口の美」の創造・発信に寄与する、専門人材を育成する。

②事業活動

a. 教育普及

- ・展示・公開している作品への理解を深める美術講座（講演会、講座、鑑賞教室 等）
- ・市民の創作活動への支援（創作体験、ワークショップ 等）
- ・創作工程を見学できる機会（公開講座、アーティスト・イン・レジデンス 等）
- ・専門的技術を学ぶ機会（実技講座、技術研修 等）
- ・「川口の美」を創造・発信する人材育成（ボランティア、アートコミュニケーター 等）
- ・学校教育機関との連携による、児童・生徒の鑑賞体験や創作体験（作品鑑賞プログラム、移動美術館、出前講座 等）

【必要となる施設機能】

講座室、公開スタジオ、ボランティア室、アート・ライブラリー 等

3. 創造・発信する事業

①基本的な考え方

- 市民やアーティスト、匠などの交流・連携により、新たな「川口の美」の創造・発信をめざす。
- 川口の新たな魅力として、市内の多様なアートを市内外に効果的に発信する。
- アートを通して人々の交流を促進し、地域活性化に貢献する。

②事業活動

a. 創造支援

- ・市民とアーティストなどが交流・連携する機会（共同制作、アートイベント 等）
- ・アーティストや多様な分野の専門家の交流・連携による創作活動（共同制作 等）

【必要となる施設機能】

オープン・ラボ（創作工房） 等

b. 情報発信

- ・誰もが気軽に立ち寄り、アートに関する情報に触れる場（ライブラリー機能を備えたカフェ 等）
- ・市内のアートを広く発信（ホームページ、SNS 等）

【必要となる施設機能】

ミュージアムカフェ、情報提供カウンター、デジタルアーカイブ 等